

【担当教員名】 塩見 義彦	対象学年	2	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

<概略>

少子高齢化が一段と進む中で、虐待、いじめ、自殺、不登校等子どもたちをとりまく状況は大きく揺れ動いている。児童、子育て環境、社会のありよう全体を視野に入れ、そこで生み出される子ども自身の問題と多様な家庭形態のなかで抱える児童家庭問題の本質を丁寧に探っていきたい。その上で、現行の児童福祉諸制度、児童福祉の理念、さらには政策・制度の現状と問題点について論じ、現代の子どものすこやかな成長を支える児童福祉、児童家庭福祉はいかにあるべきかを考える。

<学習目標>

1. 児童福祉の基礎概念について学習する
2. 子どもたちの置かれている現状と児童福祉について学習する
3. 児童福祉の歴史について学習する
4. 児童福祉にかかわる専門機関、専門職種について学習する
5. 児童問題と児童福祉の課題について学習する

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1	児童福祉の理念	「児童福祉の理念は何か」「児童福祉の意味と目的は何か」について学ぶ	講義を中心にビデオ教材を適宜活用
2	児童福祉の変遷	日本及び欧米の児童福祉の歴史について学ぶ	同上
3	現代社会と児童福祉	社会全体が大きく変化していることに伴い、発生している種々の問題を概観する	同上
4	児童福祉法制度Ⅰ	児童福祉法及び関連する法律について理解を深める	同上
5	児童福祉法制度Ⅱ	〃	同上
6	児童福祉の実施体制Ⅰ	児童福祉諸活動の実施体制について理解を深める	同上
7	児童福祉の実施体制Ⅱ	〃	同上
8	児童福祉施策Ⅰ	児童福祉諸施策を体系的に学ぶ	同上
9	児童福祉施策Ⅱ	〃	同上
10	児童福祉施策Ⅲ	〃	同上
11	児童福祉施設の現状と課題	各種児童福祉施設の現状と抱える諸問題について学ぶ	同上
12	児童福祉と専門職	児童福祉分野で働く専門職の基本的要件・姿勢について学ぶ	同上
13	子どもの非行・犯罪	個性と環境との力動的相互関係による子どもの非行について学ぶ	同上
14	児童虐待の理解	児童虐待の実態とその対応策について考える	同上
15	21世紀の児童家庭福祉	児童家庭福祉の潮流とこれからの児童家庭福祉について考える	同上

【評価方法】

筆記試験、レポート、出席状況、受講態度。

【履修上の留意点】

大きく変化しつつある子ども家庭福祉サービスを現実的な視点で、具体的に把握するよう努めること。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	「児童福祉論」	「新版・社会福祉学習双書」編集委員会編	全国社会福祉協議会	2002年版 2,000円
参考書	授業中に適宜紹介する			
その他 (プリント等)	必要の都度配布する			